

地域在宅看護学

《担当者名》 竹生 礼子 take-r@hoku-iryu-u.ac.jp 佐藤 美由紀 明野 聖子

【概要】

地域で生活する人々とその家族を理解し、健康と生活を守る支援のあり方と看護職の役割を学ぶ。

【学修目標】

1. 地域在宅看護の歴史、理念、および地域在宅看護を必要とする社会情勢を学ぶ。
2. 地域在宅看護を発展させる看護職の役割の理解と活動領域、法的基盤、地域包括ケアについて理解を深める。
3. 対象者の多様な健康と生活を理解し、ニーズに沿った支援のあり方を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	地域在宅看護の歴史、理念、社会的背景、法的基盤(1)	地域在宅看護の理念・目的	竹生
2	地域在宅看護の歴史、理念、社会的背景、法的基盤(2)	地域在宅看護活動の歴史の変遷、社会情勢との関連	竹生
3	地域在宅看護の歴史、理念、社会的背景、法的基盤(3)	プライマリ・ヘルスケア、ヘルス・プロモーション、住民参加、ノーマライゼーション、健康主要概念の定義と理解	佐藤
4	地域在宅看護の歴史、理念、社会的背景、法的基盤(4)	地域で生活する人々を支える諸制度と社会資源(1) 地域保健法・他	佐藤
5	地域在宅看護の歴史、理念、社会的背景、法的基盤(5)	地域で生活する人々を支える諸制度と社会資源(2) 介護保険法・他	竹生
6	地域在宅看護の歴史、理念、社会的背景、法的基盤(6)	地域在宅看護活動の場と対象者	佐藤
7	人々の健康と生活の理解とニーズに沿った支援(1)	地域在宅看護活動の実際 ～行政で働く保健師の活動より～	佐々木奏(特別講師) 明野 佐藤
8	人々の健康と生活の理解とニーズに沿った支援(2)	個人のとらえ方と支援(1) ICFと3つのLife(命・生活・人生)	竹生
9	人々の健康と生活の理解とニーズに沿った支援(3)	個人のとらえ方と支援(2) 健康・日常生活・社会活動、住環境、価値観	竹生
10	人々の健康と生活の理解とニーズに沿った支援(4)	家族のとらえ方と支援	竹生
11	人々の健康と生活の理解とニーズに沿った支援(5)	集団・組織のとらえ方と支援	佐藤
12	人々の健康と生活の理解とニーズに沿った支援(6)	地域のとらえ方と支援	佐藤
13	地域包括ケアと看護職の役割(1)	地域包括ケアシステムと多職種連携	竹生
14	地域包括ケアと看護職の役割(2)	地域におけるセーフティマネジメント	佐藤
15	まとめ	まとめ	竹生 佐藤

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

地域在宅看護に関するレポート10%、定期試験(筆記試験)90%

レポートの評価後、コメントを記載し次年度はじめに各学生に返却する。定期試験結果は、評価公表後期限を設けて教員室にて回答を閲覧できるようにする。

【教科書】

臺有桂他編：ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア。メディカ出版，2022。
河原加代子他著：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤。医学書院，2022。
河野あゆみ編：新体系看護学全書 地域・在宅看護論。メヂカルフレンド社，2021。

【参考書】

酒井明子他編：ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践 災害看護。メディカ出版，2022。

【学修の準備】

指定した教科書の該当ページを事前に読んでおくこと（予習90分）。講義で触れた内容について、教科書の該当ページを読んでおく（復習150分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

竹生礼子（保健師・訪問看護師・介護支援専門員）
佐藤美由紀（保健師）

【実務経験を活かした教育内容】

行政機関・医療機関・訪問看護事業所等における実務経験に基づいた教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している